

石のひっこじ だより

ドリーネめぐり

1月から新シリーズとして「ドリーネめぐり」を連載します。

今回紹介する深窪は、センターから茶ヶ床へ向う平尾の森ルート森を抜けると目の前にあります。直径130m、深さ30mで平尾台でも最大級のドリーネです。傾斜がきつく道も付いていないので、中に入る事は余りお勧めできません。斜面は草地になっており春にはカノコソウが咲き乱れます。所々イワギボウシの群落も見られます。底部は石灰岩の大きな転石があり、岩の間に根を張った樹木が見られます。その岩や樹木にイワガラミが巻きついています。オニシバリやオオキツネノカミソリなども見られます。去年の四月に降りたときには、朽木にキクラゲがたくさん生えていました。



ふかくぼ 深窪

センターからの
方位：北東
距離：950m

☆ドリーネとは石灰岩が雨水の浸食により出来たすり鉢状の窪地をさします。



キクラゲ



カメムシは
苦手かな?

平尾台の生きもの キバラヘリカメムシ

センター近くの民家の生垣に沢山のカメムシがついていました。成虫・幼虫・卵とすべて揃っており、まるで集団で日光浴をしているみたいで、マサキの実を吸っているものもいました。センターに帰って調べるとキバラヘリカメムシと判明。カメムシは強烈なイヤな臭いを出すので、気をつけましょう。

カメムシ目（半翅目）カメムシ亜目 ヘリカメムシ科

（分布）本州、四国、九州（体長）約14～17mm

名前のお通り腹面が黄色です。背面は暗褐色。カメムシには、植物の茎や種子の汁を吸う種類と、虫などの体液を吸う種類があります。キバラヘリカメムシは、マユミ、ニシキギなどニシキギ科の植物の茎や実の汁を吸います。また、親が子どもを守る習性があるようです。



12月15日

成虫

幼虫

マサキの葉上で日光浴?

ボランティア研修

水晶山ハイキング 12月10日

イベント本番の下見とボランティア研修を兼ねて水晶山へ行きました。リタイアの方が出た時の対処方法や救護地点の確認をしながら、本番同様のペース配分でゆっくり歩きました。水晶山は、花崗岩で出来ており、実際に水晶が観察出来ます。ボランティアの方々と一緒に水晶を探してみました。運が良ければ写真のような直径5mm程度の結晶が見つかります。残念ながら本番のイベントは荒天の為、中止でした。参加人数9名：スタッフ2名、ボランティア7名。



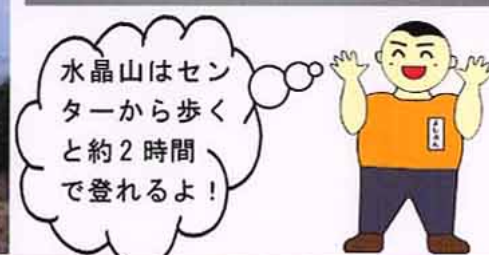
偽水晶山の下り



山頂から足立山方面



水晶山で見つけた水晶



水晶山はセンターから歩くと約2時間で登れるよ!

史跡探訪

☆悠久の時を越えて☆

私は、瑠璃観音。永い間、平尾台の移り行く様を見届けてきた。私がこの地にやって来たのは1234年。鎌倉時代、時の執権・北条泰時がこの世を治めていた時の事。それから770年・・・今もなお、人々の幸せをひっそりと願っている。

吹上峠から農道を大平山に約100m入った石仏群の中に私はいます。

『三谷むかし語り合本第4巻』参照



パトロールだより

徒歩でパトロールをしていると、様々な木の実が目につきます。平尾台にはニシキギ科の木が比較的多く、実も紅葉も美しいものが多いようです。12月8日撮影



マユミ（ニシキギ科）



トベラ（トベラ科）

☆イベント情報☆

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。

開催日：平成19年1月19日（金）

（10:00～16:00）研修室

対象：一般10名（材料費：2,000円）

申込締切：平成19年1月9日（火）

●ドリーネウォッチング

ドリーネの中に降りて、地形・植物を観察

開催日：平成19年1月28日（日）

（9:30～15:00）フィールド

対象：一般20名

申込締切：平成19年1月21日（日）

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●野焼き写真展

平尾台の春の風物詩「野焼き」の写真展示

開催日：平成19年1月4日（日）～3月30日（金）（9:00～16:30）

場所：センター1F展示室

→ 今年の野焼きは3月4日の予定です。

初冬の木の实



シャクスイハラ（マメ科）



ツルマサキ（ニシキギ科）

石のひっこじ だより

ドリーネめぐり

今回のドリーネは、平尾台山神社の先50m程から北側に分かれる小道に入り森を抜けた所に有ります。大平山が真向かいに見えます。農道を挟んで森側が下穴、大平山側が上穴です。どちらも草地になっており春にはカノコソウ等の野草が咲いています。底部は比較的広く、以前は畑として利用していました。名残りのゴボウが生えています。下穴の北斜面は陥没穴が見られ侵食が進んでいます。比較的入り易いので野焼き後に入って観察してみてください。



下穴



ゴボウ



大平山から南側の景色



うえあな・したあな

センターからの
方位：北北東
距離：下穴880m
上穴930m



上穴

美しい平尾台
がいいなー。



ボランティア研修 その1

ボランティア交流ハイキング 12月24日

コースはセンター～平尾の森～鞍はずし～四方台～貫山～手島基地～広谷台～広谷～中峠～茶ヶ床～平尾の森～センター。今回は「平尾台自然の郷」野草勉強会のメンバーも参加していただきました。案内標識の補修やゴミ拾いを行いながら、枯花から野草の名前を当てる遊びやヤドリギの実の観察などを行いました。ガイドボランティアから



貫山山頂



案内標識の補修

参加人数15名：ボランティア8名、野草勉強会5名、スタッフ2名。

は平成19年度のイベントや研修についての提案もあり、楽しい交流ができました。今後は、野草勉強会との連携も深めながら、センター野草園造り等を進めて行く事になりました。

ボランティア研修 その2

ドリーネハイキング 1月8日

今回も「自然の郷」野草勉強会のメンバーが参加。コースは見晴台第一洞、篝火盆地(2箇所)、茶ヶ床周辺(3箇所)、深窪などのドリーネに入り、地形や植生などを観察しました。洞窟のあるもの、タケが生えているもの、ユリワサビなどが沢山見られるもの等、



見晴台第一洞のあるドリーネ

変化に富んでいました。普段入ることの少ないドリーネを観察することで今後のガイドに役立てたいと思います。また、ドリーネ内に散乱していたビン類などのゴミを回収しました。

参加数13名：ボランティア7名、野草勉強会5名、スタッフ1名。



篝火盆地のドリーネ内部

パトロールだより

年明けのパトロールは、不法投棄ゴミが多くて回収に大忙しでした。投棄が多いのは駐車場や駐車スペースのある沿道で、粗大ゴミは環境局に回収して貰います。今年は、なんと貫山山頂標識に寝袋やジャケット等が巻きつけられており、市民からの通報で回収に行きました。一部の心ない方の行為には情けなくなります。平尾台は、国民の大切な国定公園です。ゴミの捨て場ではない筈ですが？

無くならない不法投棄



貫山山頂

野草園造り

センターの光庭(中庭)と事務所西側のボーダーガーデンをボランティアの力をお借りして、1月より野草園造りをしています。

センター敷地に生えてきた野草等を利用して、4月から少しずつ一般の来館者に観て頂けるように頑張っています。



ヤドリギ

平尾台の落葉樹が葉を落とすと、所々で梢の中に黄緑色の丸いかたまりが目立ち始めます。常緑小低木のヤドリギです。雌雄異株で2～3月頃開花し、10月～12月頃美しい淡黄色の実を着けます。実は甘く粘着質で、ヒレンジャクやヒヨドリ等の野鳥が食べて排泄します。種子が幹や枝に着き発芽すると、寄生根を樹木の内部に食い込ませ水や養分を吸収します。光合成も行うので半寄生植物と呼ばれています。



ヤドリギの実



排泄種子

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

ドリーネめぐり

今回のドリーネは、センターから平尾の森へ向かい山神社手前約50mから南側（右手）の民家の脇を抜けて森の中を降りて行った場所にあります。水が湧き出てまた吸い込まれており、いわゆる「帰り水」現象が見られます。地元の方は川と呼んでおり、カワ帰り水と言われています。湧水はドリーネに溜まった9万年前に噴火した阿蘇の火山灰の中から湧き出しおり、ケイ酸を多く含んでいます。以前は、集落の大切な水源であり、今でも貯水槽とポンプ小屋があります。水神様の石碑には「小森四郎 寛政八（1796年）」と書かれています。貯水池の奥の「帰り水の穴」（流入曲流型斜洞、総延長30m、高度差5m）へ流れ込んでおり、不動洞へ続いています。入り口付近でノッチやスカラップが観察できます。ドリーネ内は湿度が高く、木々にはコケが垂れ下がっており、シダ類も多く見られます。

かえりみず

帰り水ドリーネ

センターからの

方位：北東

距離：380m

帰り水の穴

木々に垂れている
キョスミイトゴケ



ポンプ小屋

貯水槽



水神様

ボランティア研修

ドリーネハイキング 2月12日



牧場上の穴ドリーネ内

イワオモダカ

茶ヶ床にて

追加ボランティア研修として実施。センターボランティアの他に北九州植物友の会、平尾台自然の郷野草勉強会や福岡からもご参加頂きました。今回はシダ植物に詳しい方がおられたので、主にシダ植物の観察会となりました。コースは茶ヶ床～キス岩～岩山中腹を歩きました。石灰岩地に現れるシダ（ヒロハヤブソテツ、オオキヨスミシダ）など約25種類のシダを確認。また平尾台では余り見かけないミヤコヤブソテツ、イワオモダカ、サイゴクベニシダ、アオネカズラなども観察できました。オニシバリ、ユリワサビ等の花が既に咲いており、暖冬を実感。ドリーネ内の洞窟「牧場上の穴」なども見学しました。皆さんからドリーネハイキングの要望が強く、野焼き後の3月に更に2回追加して実施することになりました。

（参加人数14名：ボランティア4名、外部8名、スタッフ2名）

☆イベント情報☆

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。

開催日：平成19年3月16日（金）

（10:00～16:00）研修室

対象：一般10名（材料費：2,000円）

申込締切：平成19年3月10日（土）

●平尾台クリーン大作戦2007

みんなの平尾台をみんなの手できれいにしよう

開催日：平成19年4月1日（日）

（10:00～13:00）平尾台一帯。

対象：無し（小学生以下は保護者同伴）

申込締切：平成19年3月25日（日）

申し込みは、TEL・FAX・往復ハガキで。

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●野焼き写真展

平尾台の春の風物詩「野焼き」の写真展示

開催日：現在開催中～3月30日（金）

（9:00～16:30）

場所：センター1F展示室

<野焼きに伴う車両規制について>

日時：平成19年3月4日（日）

時間：7:00～16:00

区間：県道28号線（吹上交差点～光水交差点）

※行橋～東谷間は、自然の郷側の道が利用出来ます。

平尾台の生きもの コウガイビル

コウガイビル（筍蛭）は、扁形動物門ウズムシ綱ウズムシ目コウガイビル亜目コウガイビル科コウガイビル属する動物の総称で、時に数十cmの長さを越える陸上動物です。名前はシュモクザメのような扇形の頭が、髪飾りの筍（こうがい）の形に似ていることから付けられたそうです。環形動物のヒルとは全く異なる動物で、乾燥に弱く、湿った土壌、石の下、朽ち木の中などにおり、夜間に活動します。肉食で、ミズ、ナメクジ、カタツムリなどを食べます。餌を見つけると追いかけて、体全体で巻きつき、体の中央部の腹面にある口から、肉を消化しつつ飲み込みます。写真のものは「ばくち穴」内の天井についていたコウガイビルの仲間です。（フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』参照）

ぬめぬめして
るなー！



史跡探訪

不動堂

不動坂を下り始めて20分。不動洞から流れ出る水の音が聞こえてくる。その心地よい川の音を聞きながら少し山を登り返した所に不動窟があり、その中に小さなお堂がある。不動堂だ。

この不動堂は、不動洞の真上にあり昔から修行場として使われていた。

お堂の裏手には鍾乳石もあり、荘厳な雰囲気漂う。

涼しい風が吹き抜ける中、お堂の中に入ってみると立派な不動明王がおられた。

右手に剣・左手に牽索、そして背中に火炎を背負い佇む姿に、私は思わず息を呑む。

すべての煩惱を剣にて断ち切り、索によって縛り火炎で燃やし尽くすとされる不動明王。

お堂脇には修行大師もあり、かつて大友宗麟によって焼き払われた

「千仏寺」の名残が今もここに残っている。



参拝道入口



担当：



だいにちたいしょうふどうみょうおう
大日大聖不動明王立像

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

☆ イベント報告 ☆

防火帯ハイキング 2月25日



平尾の森周りの防火帯

不動山の防火帯

出発前に、センター研修室にて防火帯や野焼きに関する事前説明を行い、その後フィールドへ。センター～神社の森～茶ヶ床～堂金山～不動山～風神山～大かんの台～三笠台～平尾台自然の郷～センターをゆっくりと歩きました。東の辻で防火帯を実際に見ながら説明すると防火帯の作り方や役割をよく納得された様子でした。その後は地質の話や咲き始めた野草の話しながら、のんびりと防火帯を散策しました。曇り空で風が強く寒かった為、昼食は平尾台自然の郷の無料休憩室で食べました。お土産物があるので、特に女性の方は喜んでいました。参加者の殆どの方が平尾台を歩くのが初めてだった為、皆さん大変満足されていました。

（参加人数：一般18名、ボランティア5名、スタッフ2名）



今年はよく焼けたなー！

ドリーネめぐり

うぶすね

産須根の穴

センターからの

方位：南

距離：650m

今回のドリーネは、千貫岩の県道28号線を挟んだ西側にあります。センターから県道の坂道を行橋方面へゆっくり登ると約10分ほどで行けます。中に降りると大きな石灰岩の柱があり間を抜けると祠があります。岩や樹木に囲まれた空間は神聖な雰囲気があります。祠には雨乞いや海上交通の神様などの名前が刻まれています。産須根の名前は生まれた土地の守り神である産土神に由来するものと考えられます。祠の西側には鍾乳洞が開口しています。流入型横穴で雨水が流れ込んでいます。中に入るとキクガシラコウモリが冬眠する姿を観察できます。ドリーネ内は湿潤で岩にはシダやコケ類が付着しており、植生的にも面白い場所です。



鍾乳洞入り口

祠のある空間



三笠台

千貫岩

←センター

産須根の穴
ドリーネ

平尾台の羊歯 (シダ)

「日本の野生植物 シダ」参照

イワオモダカ



ウラボシ科ヒトツバ属。
岩上や樹幹に着生。常緑性シダ
葉裏が赤褐色。乾燥すると葉が反り
返る。

イワガネソウ



ホウライシダ科イワガネゼンマイ属。
山地林下。常緑性大型シダ
葉脈が網目をつくる。イワガネゼン
マイは葉脈が網目を作らない。

カルスト台地平尾台には、ドリーネや鍾乳洞などの特殊な環境が存在し、湿気が多いため、シダ植物の宝庫となっています。また、石灰岩地特有のシダも数多く観察することができます。

ドリーネハイキングを通してシダの多様性に目覚めたスタッフは、平尾台のシダについて少しずつ紹介していく予定です。

地域行事

野焼き

3月4日(日)

「野焼き見学会」には225人の方々が参加。迫り来る火に盛んにシャッターを切っていました。



〈野焼き見学会の様子〉



☆ イベント情報 ☆

●ドリーネハイキング

春のドリーネに降りて地形・植物を観察！
開催日：平成19年4月15日(日)
時間：9:30～15:00
対象：一般30名(小学生以下は保護者同伴)
申込締切：平成19年4月7日(土)

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日：平成19年4月20日(金)
(10:00～16:00) 研修室
対象：一般10名(材料費：2,000円)
申込締切：平成19年4月7日(土)

●大平山ハイキング

地形と春の野草を観察しながらハイキング。
開催日：平成19年4月29日(日)
時間：9:30～15:00
対象：一般30名(小学生以下は保護者同伴)
申込締切：平成19年4月20日(金)

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●荒木猛夫・野草写真展

野草写真家・荒木猛夫さんの写真を展示
開催日：4月25日(水)～5月30日(水)
(9:00～16:30)
場所：センター1F展示室

石のひっじ だより

ドリーネめぐり

助佐穴は、五月になると斜面一面がシランの花で埋まる為、通称シランの谷と呼ばれています。センターから見晴台へ向かう道の南側にある大きなドリーネです。数箇所湧水があり内部に流れ込んでいます。途中流れに沿ってトウファー（微生物要因の鍾乳石）を形成しています。昔は洞窟があり、今でも鍾乳石等の痕跡が見られます。南側の最深部は樹林で覆われ切り立った岩壁で囲まれています。湿度が高く、土はじめじめしており春にはサツマイナモリやユリワサビが咲き、岩壁ではイワギボウシやシダ植物のツルデンダ等が観察できます。樹木はタブノキ・ヤブニッケイ・イロハモミジ等が生えています。新緑や紅葉が美しく、四季折々の景観が楽しめます。シラン等の野草は踏みつけないように注意しましょう！

すけさあな

助佐穴

センターからの

方位：東南東

距離：550m



シラン



トウファー



タカサゴソウ

鍾乳洞跡

昨年5月5日

平尾台の羊歯 (シダ)

「日本の野生植物 シダ」参照

ツルデンダ



オシダ科イノデ属。

ドリーネ内のやや湿った石灰岩上や斜面に着生する常緑性シダ。葉は長く伸びて先端に芽をつける。

クモノスシダ



チャセンシダ科チャセンシダ属。

ドリーネ内の石灰岩上に着生する常緑性シダ。葉身の先端がつる状に伸び先に芽をつけ、そこから出た葉がまた伸ばして芽を出す。

☆ イベント報告 ☆

クリーン大作戦 4月1日

みんなでゴミ拾い



平尾台グラウンドワークの一環として地元企業・自治体・住民や一般応募など130人の参加を頂き、平尾台のゴミ拾いを実施しました。ここ2年間は天候不良で中止だった為、久しぶりの開催となりました。開会式では、小倉南区宮野前区長の挨拶を頂きました。雨が降り出しそうな天候だったので、予定より少し早めにゴミ拾いを開始。車道を中心としたポイ捨ての多い場所で重点的にクリーン活動を行いました。子供連れ参加の方は危険が少ないコースで自然を楽しみながらゴミを拾えるように配慮しました。約2時間のクリーン活動で拾ったゴミは軽トラック7杯分もあり、改めてマナーの悪さを考えさせられました。振舞いの「ぜんざい」も好評で、あつという間に大鍋が完食になりました。皆様お疲れ様でした。来年も実施しますので、皆様のご参加をお待ちしています。



平尾台の生きもの アカハライモリ

今年は4月17日に広谷湿原でアカハライモリを確認しました。平尾台では、水場が少なく生息場所が限られています。子供の頃は自宅付近で沢山見かけましたが、最近環境変化が激しく生息場所が減少するばかりです。カエルやサンショウウオと同じ両生類で、日本固有種です。全長は約10cmで4本の足と長い尾をもち、背中黒褐色で腹は赤地に黒のまだら模様でアカハラ由来となっています。水田・池・川の淀みなど流れのない淡水中に生息し、成体は繁殖期以外も水中で生活することが多く、冬は水路の落ち葉の下や水辺近くの石の下などで冬眠します。昆虫やミズ等の小動物を食べます。イモリは脊椎動物の中でも、最も再生能力が高く、尾を切ると完全に骨まで再生します。また、フグと同じ毒（テトロドトキシン）をもっている為、触った後は手をよく洗います。フリー百科事典『ウィキペディア』参照



4月17日

☆ イベント情報 ☆

●シラン観察ハイキング

春の野草を観察しながらハイキング
開催日：平成19年5月8日（火）
時間：10:30～14:30
対象：一般30名（小学生以下は保護者同伴）
申込締切：平成19年5月2日（木）

●春の野草写真入門

写真入門講座：カメラを通して自然を観察
開催日：平成19年5月13日（日）
時間：9:30～14:00
対象：一般10名（高校生以上）
申込締切：平成19年5月2日（木）

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日：平成19年5月18日（金）
（10:00～16:00）研修室
対象：一般10名（材料費：2,000円）
申込締切：平成19年5月11日（金）

●国定公園バトロール体験

巡視（徒歩）に同行し、平尾台の自然を考える
開催日：平成19年5月22日（火）
時間：9:30～12:00
対象：一般10名（小学生以下は保護者同伴）
申込締切：平成19年5月15日（火）

●カタツムリを観察しよう！

カタツムリ探しを通じた生態観察
開催日：平成19年5月27日（日）
時間：9:30～15:00
対象：一般20名（小学生以下は保護者同伴）
申込締切：平成19年5月15日（火）

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●荒木猛夫・野草写真展

野草写真家・荒木猛夫さんの写真を展示
開催日：4月25日（水）～6月29日（金）
（9:00～16:30）
場所：センター1F展示室

山菜シーズンだからといって、平尾台ではワラビやヨモギ等の野草は採らないでね！



石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

☆ イベント報告 ☆

大平山ハイキング 4月29日

新緑の平尾の森（森林浴）と大平山（草原浴）の自然を楽しむハイキング。今回は小さな子供（3才～8才）連れの親子チームと一般チームに分かれほぼ別行動としました。コースは、平尾の森～下穴～大平台～大平山（昼食）～キス岩～茶ヶ床～平尾の森（一般チームは帰りにシランの谷を経由）を巡りました。春の野草（ツチグリ・ホタルカズラ・カノコソウ・オカオグルマ・シラン等）や野鳥（ヒバリ・セッカ・ホオジロ・キジ等）を観察。キス岩は子供たちにとっても人気がありました。今回は約七割の方がセンターイベントに初参加でした。「とても楽しかった。また参加したい。」との感想を頂きました。早速、次回イベントの申し込みをされる方もいました。

（一般参加：30人、ボランティア：10人）



ドリーネめぐり



えのはのふち

エノハの淵

センターからの

方位：東

距離：980m

センターから千仏鍾乳洞に向かう道が貝殻山付近で大きく右カーブをする、その右側にある窪地がエノハの淵。耳を澄ますと底のほうから水の流れる音が聞こえます。ここも帰り水現象が見られるドリーネで、奥には鍾乳洞があります。水の流れにはトウフナー（フローストーン）やリムストーン（畦石）等の鍾乳石が見られ、流れの落ち葉の陰でヨコエビの仲間（甲殻類）を観察できます。湿潤な環境を好む植物が多く、石灰岩の岩壁にはイワギボウシやシダの仲間が着生しています。エノハはヤマメの地方名ですが、魚は生息していません。

岩壁にはイワギボウシやツルデンダなどが付着



堂金山
エノハの淵奥院
(鍾乳洞)



平尾台の羊歯 (シダ)

「日本の野生植物 シダ」参照

ヒロハハナヤスリ



マツザカシダ



ハナヤスリ科ハナヤスリ属。

野焼き後のドリーネ内の夏に草が茂るような場所で見かけます。春に葉をだし、夏には枯れます。栄養葉と孢子葉は基部で合着。

イノモトソウ科イノモトソウ属。

ドリーネ内のじめじめした石灰岩の割れ目などに稀に見られる常緑性シダ。栄養葉には軸に沿ってしばしば白斑がはいります。

平尾台の生きもの カナヘビ

今回取り上げたニホンカナヘビは、平尾台でもごく普通に見られるトカゲの仲間（爬虫類のカナヘビ科）で、日本の固有種です。全長は16～25cmで、尾が全体の2/3もあり、北海道から九州、トカラ列島まで分布し、平地から1000m以上の山地まで広く生息しています。昼間に活動し、昆虫やクモなどを食べています。捕まりそうになると尾を切ることがあり、切れた尾が動いている間に逃げます。尾は再生するが骨までは再生しません。春から夏に草の根際などに産卵。卵は白く、長径1.0cm、短径0.6cmくらいの楕球形。約2ヶ月で孵化し、ほぼ1年で大人になります。11月頃に地中で越冬します。フリー百科事典『ウィキペディア』参照



☆ イベント情報 ☆

● カッコウ観察会

平尾台で見られる初夏の野鳥をのんびり観察
開催日：平成19年6月3日（日）
時間：9:00～12:00
対象：一般20名（中学生以下は保護者同伴）
申込締切：平成19年5月24日（木）

● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日：平成19年6月15日（金）
（10:00～16:00）研修室
対象：一般10名（材料費：2,000円）
申込締切：平成19年6月12日（火）

● ノハナショウブ観察ハイキング

梅雨期の野草を観察しよう！
開催日：平成19年6月24日（日）
時間：9:30～15:00
対象：一般20名（中学生以下は保護者同伴）
申込締切：平成19年6月12日（火）

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

● 荒木猛夫・野草写真展

野草写真家・荒木猛夫さんの写真を展示
開催日：4月25日（水）～6月29日（金）
（9:00～16:30）
場所：センター1F展示室

ヒノキバヤドリギ

樹木の幹に着生する半寄生のヤドリギ科の植物で、高さ5-20cmの常緑低木。ヒサカキ、マサキ、ヤブニッケイなどの常緑樹に寄生。写真は塔ヶ峯のヤブツバキに着生していたもので、平尾台で初めて見ました。平尾台のヤドリギ科はヤドリギと山麓にオオバヤドリギが分布しています。



石のひっじ だより

ドリーネめぐり



川ドリーネの東側、不動坂側から二番目にある大きな窪地がぼくち穴のあるドリーネです。昔、内部にある鍾乳洞で隠ればくちをしていたという伝説があります。周囲は草原で、底部や岩壁の周囲には樹木が生えています。

ドリーネの底は柔らかな土で覆われており、ヤマアイやユリワサビ等が群生しています。岩壁にはイワギボウシやツルデンダ等が着生し、夏場はうっそうとして薄暗く、道が無いので、人が殆ど入っていません。

野焼き後だと比較的入り易いですが、一人では入らないようにしましょう。

ユリワサビ



葉柄の基部がユリの鱗茎のように見える



ぼくち穴（鍾乳洞）



不動山より川ドリーネ方面

三笠台

ぼくち穴

ぬかみそ窪

ぼくちあな ぼくち穴

センターからの

方位：南東

距離：600m

☆ イベント報告 ☆

5月はイベントが目白押しでした。

シラン観察ハイキング 5月8日（火）



講師に「平尾台自然の郷」野草勉強会の森ふさ恵氏を迎え、デジタルカメラを通して春の野草を観察。撮影時のフィールドマナーも勉強しました。

一般参加9人、ボランティア5人

国定公園パトロール体験



晴れて風が強く、カタツムリ日和ではなかったけれど、平尾の森で、キュウシュウシロマイマイ等を観察できました。また、カタツムリの外敵オサムシも見つけました。

一般参加7人、ボランティア2人

初めての平日観察ハイキング。6分咲きのシランや咲き始めのジャケツイバラ・タカサゴソウなど春の野草20種以上を観察。ゆったりコースで平尾台の自然を満喫。

一般参加9人、ボランティア5人



春の野草写真入門

センターの巡視業務を徒歩で体験し、ゴミ問題や違法行為等の実情を見て頂きながら、平尾台の自然も観察。当日はRKBラジオのレポーターが同行し生中継もあり。

一般参加5人、ボランティア1人



カタツムリを観察しよう

5月27日（日）

平尾台の生きもの 蛾（ガ）



ハグルマトモエ（ヤガ科）

5月27日

前翅長：52～75mm 食草：ネムノキ
分布：本州、四国、九州
5～7月、8～9月の年2回発生。
翅の模様がユーモラスで憎めません。



キガシラオオナミシャク（シャクガ科）

5月27日

前翅長：51～60mm 食草：イワガラミ
分布：本州、四国、九州
6～7月に発生。ふわふわ飛んでいます。
鏡の前でお化粧しているみたいです。

☆ イベント情報 ☆

● 鍾乳洞生き物観察会

鍾乳洞の中に棲む生き物を観察
開催日：平成19年7月15日（日）
時間：9:30～15:00
対象：一般20名（小学生以下は保護者同伴）
申込締切：平成19年7月2日（月）

● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日：平成19年7月20日（金）
時間：10:00～16:00 研修室
対象：一般10名（材料費：2,000円）
申込締切：平成19年7月13日（金）

● コオニコリ観察ハイキング

夏の野草を観察しながらハイキング
開催日：平成19年7月29日（日）
時間：9:30～15:00
対象：一般20名（小学生以下は保護者同伴）
申込締切：平成19年7月13日（金）

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

● 日本のカルスト・洞窟写真展

カルスト学博士である浦田健作氏の写真展
開催日：7月1日（日）～7月29日（日）
（9:00～17:00）※入館16:30まで
2・9・17日は休館日です
場 所：センター1F展示室

平尾台の羊歯（シダ）

「日本の野生植物 シダ」参照

ピロードシダ



4月20日

ウラボシ科ヒトツバ属。常緑性。
日陰の石灰岩の岩上に着生しています。平尾台では大変稀です。和名は星状毛に覆われた葉をピロードに見立てたものです。

トウゲシバ



ヒカゲノカズラ科ヒカゲノカズラ属。常緑性。
山林中に生える。針葉樹のような姿をしていて、群生しているとミニチュアの林のように、愛着を感じます。

アオマダラタマムシ

体長：16mm-29mm。出現期：6～7月。
分布：本州（関東以西）、四国、九州。
エノキ、モチノキなどの枯材に集まる。
平尾台山麓井手浦の林道を歩いている時、葉の上にいる美しいタマムシを見つけました。初めて見るタマムシにっこり(´_`)
5月24日



石のひっこじ だより

ドリーネめぐり

見晴台から東側100mの場所に、岩に囲まれた長径100mほどの大きなドリーネがあります。中には見晴台第二洞と呼ばれている鍾乳洞があり、南側斜面には大きなカヤの木が一本立っています。樹木で覆われた地面には、ユリワサビやヤマアイが群生し、斜面にはサツマイナモリも多く、早春には白い花で埋もれます。石灰岩の壁面にはクモノスシダやタチデンドなどの好石灰岩性のシダが着生しています。見晴台側のなだらかな草原のドリーネには陥没穴が見られ、水が滲み出している場所ではトゥファー（シアノバクテリア要因の鍾乳石）が形成されています。周囲の石灰岩の岩壁には、かつてロッククライミングの練習をしていたのか、ハーケンが所々に打ち込まれています。



野焼き直後のドリーネ

3月11日



みはらしだいだいどう

見晴台第二洞

センターからの

方位：東

距離：750m



見晴台第二洞
箱穴
不動山
見晴台
篝火盆地

7月21日

☆ イベント報告 ☆

ノハナショウブ観察ハイキング 6月24日(日)

梅雨空でしたが、イベント中は幸い雨は降りませんでした。茶ヶ床まで車で移動し、2班に別れてボランティアの案内で広谷湿原まで、野草を観察しながらのんびりと歩きました。草原ではオカトラノオ・クララ・ウツボグサ、湿原ではノハナショウブ・カキラン・コバノトンボソウ・ヌマトラノオ・モウセンゴケなどの野草を約50種確認しました。参加者の4割の方が広谷湿原は初めてで、ノハナショウブやモウセンゴケの花に惹かれていたようでした。一般参加20人、ボランティア12人



平尾台の生きもの セミ

平尾台では、8種類のセミ（ハルゼミ、ニイニイゼミ、ヒメハルゼミ、ヒグラシ、アブラゼミ、ツクツクボウシ、クマゼミ、ミンミンゼミ）が確認されています。ハルゼミは松の木がある場所で4月下旬より6月中旬まで鳴き声が聞かれます。ヒメハルゼミは山麓から山腹にかけての照葉樹林で鳴いています。ヒグラシの初鳴きは2005年が7月6日、2006年が11日、2007年が16日でした。7月下旬よりミンミンゼミやクマゼミが鳴き始めると、暑さが増します。



羽化直後のニイニイゼミ
7月17日

☆ イベント情報 ☆

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日：平成19年8月17日(金)
(10:00～16:00) 研修室
対象：一般10名(材料費：2,000円)
申込締切：平成19年8月10日(金)

●平尾台の虫しらべ

平尾台で見られる虫を観察しよう！
開催日：平成19年8月19日(日)
時間：9:30～14:00
対象：一般20名(小学生以下は保護者同伴)
申込締切：平成19年8月10日(金)

●皆既月食観察会

福岡では3年振りとなる皆既月食を観察しよう
開催日：平成19年8月28日(火)
時間：17:00～20:30
対象：一般50名(高校以下は保護者同伴)
申込締切：平成19年8月21日(火)

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●アートフラワー展示会

野と花の会の皆さんが作られた作品の展示
開催日：8月1日(日)～9月29日(土)
(9:00～17:00) ※入館16:30まで
場所：センター1F展示室

平尾台の羊歯(シダ)

ヒカゲノカズラ



ヒカゲノカズラ科ヒカゲノカズラ属。常緑性。草原に見られる。冬から春にはよく目立つが、草に覆われる夏から秋には見つけづらい。
「日本の野生植物 シダ」参照



キヌガサタケ

スポンタケ科。梅雨と秋に竹林に発生する。平尾台でも生えている場所が数箇所あります。数時間で形が崩れてしまうため、午前中が見頃のようなです。白いマントはエレガントですが、頭部のグレバ(胞子を出す部分)はとても臭いです。

ボランティア活動 野草園造り

今年1月より、野草好きボランティアの進藤さんを中心にセンター敷地内で野草園造りをはじめました。進藤さんの指導の下、毎週木曜日と第二土曜日に活動しています。予定地の草取りをしながら、センターに生えている野草の勉強から始めました。幸い「平尾台自然の郷」などから苗や種を戴きました。風や野鳥などが運んだ種から発芽した野草などと合わせ、約180種の野草が観察可能で、野草好きの来館者に、とても好評です。



野草園の手入れ



中庭の日除け取付け



芝生



野草園(中庭)

コウガイビル(ゴキブリ)の食事風景

草木の生い茂る、とあるドリーネに植物観察の為にいった。マムシやダニの恐怖に怯えつつ降り立つと、目の前に、キュウシュウシロマイマイを食べているコウガイビルがいた。によるによるとした長い体をカタツムリに巻きつけ、腹部にある口で食べている情景はホラーである。



6月3日

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

「コオニユリ観察ハイキング」7月29日（日）

風があり雲が多く、快適な観察会となりました。センター～見晴台～エノハの淵～茶ヶ床～深クボ～平尾の森～センターと約4kmの道を歩きました。コオニユリやノヒメユリ、キキョウ、ヒオウギなど約55種の野草を観察しました。平尾台の夏の野草の多さに感激して、「毎月、平尾台の草花を観に来よう！」という参加者もいました。一般参加：12人、ボランティア：7人



「平尾台の虫しらべ」8月19日（日）

猛暑が心配されたが、幸い曇が多い日差しが弱い一日でした。コースは平尾の森～茶ヶ床～目白洞。地上トラップでオサムシ等、クヌギの樹液ではゴマダラチョウやカナブン等を観察しました。イヌビワにはイシガケチョウの幼虫とサナギがおり興味津々の様子でした。子供たちは、多くの虫たちと触れ合うことが出来て、とても満足していた様子でした。

一般参加：29人
ボランティア：7人



ドリーネめぐり



こあな

小穴

センターからの
方位：北北東
距離：1,930m

小穴は、石灰岩と非石灰岩の境界部に発達した直径150m程のすり鉢状のドリーネです。四方台側（東側）は草原、大平山側（西側）は急峻な岩壁で南西側は樹木で覆われています。南西端の岩壁中腹には、「小穴の小穴」と呼ばれる総延長9m、高度差4mの洞窟が開口しています（ただ、穴を見つけるのは岩場なのでとても困難です）。ドリーネ内部にはオオキツネノカミソリが群生していますが、夏場は藪になっており、内部に降りるのはかなりの勇気が要ります。中峠から四方台への稜線から見た小穴は特に雄大で、平尾台でも特にすぐれた景観を呈し見応えがあります。小穴へは、吹上から大平山経由、茶ヶ床から鞍はずし経由、中峠から九州自然歩道経由などのルートがあります。



小穴内部 3月26日



観察センター

竜ヶ鼻

大平山

小穴

四方台への登り道 5月12日

平尾台の羊歯（シダ）

クリハラン



12月14日

ウラボシ科クリハラン属。常緑性。平尾の森やドリーネ内の地上や湿った岩上に群生しています。葉は単葉で、葉身の長さ：25-40cm。「日本の野生植物 シダ」参照

ヒメカマキリの幼虫



8月19日

ヒメカマキリ科。樹上性。腹部を反り返して威嚇（いかく）のポーズをとっている姿が可愛い。写真の幼虫は、体長10mm程度しかなく、よく見ないと鳥の糞にしか見えません。今回、初めて幼虫の姿を見ました。

平尾台の生きもの イシガケチョウ

目白洞付近のイヌビワの木にイシガケチョウが飛んでいたため、ボランティアの方々と幼虫を探してみました。角のようなものがいくつもある終令幼虫3匹とさなぎ1匹を発見しました。また目の前で産卵した生みたての黄色い卵も観察出来ました。卵は柔らかな葉の端のほうに一つずつ分散して産み付けていました。幼虫も柔らかな若葉を葉の表で食べていました。さなぎには緑色型と褐色型があるそうです。成虫の翅に縦横に線が入っており、石崖のように見えます。飛んでいる時は白い蝶にしか見えません。近年、温暖化の影響のためか、分布域が北上している蝶です。

タテハチョウ科。食樹：クワ科。年3、4回発生。分布：近畿、中国地方以南、四国、九州、南西諸島、台湾、中国南部、ヒマラヤ



終令幼虫

さなぎ（褐色型）

産卵直後の卵

イヌビワの葉っぱに産卵の為にやって来た成虫（メス）

8月12日

●草刈ボランティア

平尾台散策道の草刈整備
開催日：平成19年9月の平日
時間：9:00～12:00
対象：一般10名
申込締切：平成19年8月22日（木）

●志山早朝登山

企救富士（貫山）から早朝の眺めを楽しみます
開催日：平成19年9月16日（日）
時間：4:30～11:00
対象：一般30名（小学生以下は保護者同伴）
申込締切：平成19年9月7日（金）

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日：平成19年9月21日（金）
（10:00～16:00）研修室
対象：一般10名（材料費：2,000円）
申込締切：平成19年9月7日（金）

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

●アートフラワー展示会

野と花の会の皆さんが作られた作品の展示
開催日：8月1日（日）～9月29日（土）
（9:00～17:00）※入館16:30まで
場所：センター1F展示室

石のひっこじ だより

ドリーネめぐり

大平山、塔ヶ峯、貫山、四方台と4つの峰に囲まれた大きな窪地が大穴です。中峠から小穴の横を通り、四方台への急登を右に見て進むと大穴へ抜ける小道があります。貫山と四方台の花崗岩地帯から供給された水が小さな沢を作り、南東部にあるポノールに吸い込まれ、その一部は井手浦洞から流出しています。南東側の石灰岩の岩壁には藤戸洞が開口しています。但し、洞口へは岩壁が阻んでおり、簡単には登れません。大穴には鍾乳洞が8本あり、雷神洞など6本に神の名前が付いています。ドリーネ内部は岩壁を除いて殆ど植林（杉やクヌギ等）されていますが、平尾台では大穴でしか見られない植物もあり、植物の分布を考える上で貴重な場所です。貫山側の杉林の中に、花崗岩の岩海*（小倉南区長野の岩海が有名）が観察出来ます。（*岩海：無数の大きな石が重なり積もったもの。）



おおあな

大穴

センターからの
方位：北北東
距離：2,000m

☆ イベント報告 ☆

「鍾乳洞生き物観察」8月26日（日）

青龍窟の洞口ホールと旧観光洞の2箇所を4班に分け、午前午後と交互に観察。旧観光洞ではコウモリ（ボランティアの方が持参したバットディテクターによるとユビナガコウモリ）やカマドウマ、サワガニ等、洞口ホールでは、ガマガエルやコウモリが観察出来ました。参加者は涼しい観光化されていない洞窟で探検気分を味わえたと好評で、特に子供たちはカエル等の生き物に目を輝かせて興奮気味でした。一般参加：38人、ボランティア：8人



「皆既月食観察会」8月28日（火）

福岡では約3年半振りとなる皆既月食。しかも今回の皆既率は、ここ10年間で最も高い為か、募集人数を超える応募がありました。観察地点は平尾台自然の郷の臨時駐車場。フィールドスコープと望遠鏡を設置し、参加者を3班に分け、天体ボランティア講師3名の説明を順番に回るようにしました。天狗岩の後方から赤くなった淡い月が見えると歓声が上がりました。望遠鏡では木星などを観察し、夏の夜の天体ショーを楽しまれました。一般参加：62人、ボランティア：8人



☆ イベント情報 ☆

● 国定公園バトロール体験

徒歩巡視に同行し、平尾台の自然を考える
開催日：平成19年10月12日（金）
時間：9:30～12:00
対象：一般10名
申込締切：平成19年10月4日（木）

● アートつらつら講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくり
に作ります。
開催日：平成19年10月19日（金）
（10:00～16:00）研修室

対象：一般10名（材料費：2,000円）
申込締切：平成19年10月4日（木）

● 秋の野草写真入門

写真入門講座：カメラを通して自然を観察
開催日：平成19年10月21日（日）
時間：9:30～14:00
対象：一般10名（高校生以上）
申込締切：平成19年10月12日（金）

● リンドウ観察ハイキング

秋の野草を観察しながらハイキング
開催日：平成19年10月25日（木）
時間：10:30～14:30
対象：一般30名

申込締切：平成19年10月12日（金）
※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

● 生き物写真展

色々な生き物の写真を展示
開催日：10月1日（月）～10月30日（火）
（9:00～17:00）※入館16:30まで
場所：センター1F展示室

平尾台に咲くかわいい花

今月は、「平尾台の羊歯」はお休みにします。代わりに、初秋に咲いていた野草を紹介します。

9月6日に観察した約80種の野草から選抜した花の写真です。オミナエシ科のオミナエシとオトコエシ、両者の雑種であるオトコオミナエシ（淡黄色と白色の花が混じっており、花全体が黄緑に見えます。）、ススキの根元に生える寄生植物のナンバンギセル、小さな貴婦人ヒナノキンチャク、香りの良いシソ科のカワミドリ。



平尾台の生きもの

ヤマトシリアゲ

シリアゲムシ科 大きさ（前翅長）：13-20mm
発生時期：4-9月 分布：北海道・本州・四国・九州
翅に2本の太い黒い帯を持ち、頭部が長く前に伸び、オスはお尻をサソリのように上にそらせる。初夏のものは体色が黒い。晩夏に現れるものは黄褐色でベッコウシリアゲと呼ばれ、以前は別種として扱われていた。林縁部等の葉上で見られる。口から消化液を出して、昆虫の体液を吸う。オスは自分で探した餌のところでメスを待ち、メスが食べているあいだに交尾する習性がある。平尾台でもよく見かけます。



「カルスト文化祭」作品募集

平尾台をテーマにした写真・絵画・俳句・自由研究・工作などを募集します。
（募集期限）10月25日（木）
（提出先）平尾台自然観察センター
（展示期間）11月1日～11月30日
（展示場所）センター1F展示室
夏休みの自由研究等の発表の場としても、ご利用下さい。皆様のご応募をお待ちしています。詳しくは、観察センターへお問合せ下さい。



石のひっこじ だより

ドリーネめぐり



たきふどう

滝不動ドリーネ

茶ヶ床から中峠を越え、広谷から青龍窟へ向かう道の左手に鬼の唐手岩が見えます。その真下にある窪地が滝不動ドリーネです。鬼の唐手岩は、マグマが石灰岩に貫入して出来た岩脈で、アプライトと呼ばれる花崗岩の一種です。ドリーネ内部からもアプライトが貫入している様子が観察できます。広谷湿原は鬼の唐手岩がダムとなり出来た湿原だと言われています。湿原の水は滝になってドリーネ内部に落ち込み、青龍窟へ流れ込んでいます。ドリーネ内には青龍窟への入口（田代の岩屋、ナウマン支洞）が2つ開口しています。ナウマン支洞からはナウマンゾウやオオツノジカ等、現在は絶滅している氷河期の動物化石が発見されています。まだ、未調査部分が多い為、ナウマン支洞への入洞は自粛して下さいね。また、ここは英彦山を中心とした豊前六峰の一つである等覚寺の修験場のひとつだったようです。ドリーネ内部には、シダやコケの仲間が生えており、夏場は滝のしぶきが涼しく別天地にいるようです。



広谷



鬼の唐手岩

滝不動ドリーネ

センターからの
方位：北東
距離：2、200m

☆ イベント報告 ☆

「リンドウ観察ハイキング」10月25日（木）

リンドウのお花に引かれたようで、平日としては参加者が多いイベントになりました。野草に詳しいボランティアをリーダーに、2班に分けて観察しました。9月も高温傾向が響き、開花が2週間程度遅れた為、例年に比べリンドウの開花株は少なかったですが、それでも、センブリやウメバチソウ等の秋の野草が観察できて好評でした。コースは山神社～茶ヶ床～エノハの淵～見晴台。特に、見晴台付近のムラサキセンブリには歓声が上がっていました。一般：28人、ボランティア：8人



平尾台に咲くかわいい花



ヒメシオン（姫紫苑）
キク科シオン属。頭花の直径は7～9mmと小さく、平尾台でも稀な花です。



シンジュガヤ（真珠芽）
カヤツリグサ科シンジュガヤ属。実の質感が真珠に似ています。

平尾台の羊歯（シダ）

「日本の野生植物 シダ」参照

オオキヨスミシダ



オシダ科イノデ属。常緑性。やや薄暗い場所の石灰岩の壁面や林下などに生えています。好石灰岩植物。

タチデンダ



オシダ科イノデ属。常緑性。ドリーネ内や鍾乳洞入口の石灰岩壁面に生えています。好石灰岩植物。

によきとときのこ！

草原の湿気のある小さな窪地で見つけたシロソウメンタケ科のキノコ。

9月20日

ムラサキホウキタケ
夏～秋に各種林内地上に発生。平尾台で初めて見ました。



シロソウメンタケ

夏～秋に広葉樹林内地上に発生。平尾台の草原でも時折発生します。



平尾台の生きもの

アサギマダラ



センター野草園のヒヨドリバナで吸蜜（すいみつ）していました。渡りをするチョウとして有名で、2000km以上、ときには日本と台湾の間を移動する個体が確認されています。このチョウは南下の途中だ



ったようです。食草は平尾台にもあるキジョランなどのガガイモ科です。20℃前後が活動適温です。羽化後、植物から毒（ピロリジジナルカロイド）を取り入れ毒蝶になります。



10月2日

☆ イベント情報 ☆

● 観光鍾乳洞めぐり

平尾台の観光鍾乳洞（杜鹿・目白・千仏）の見学
開催日：平成19年11月11日（日）
時間：10:00～16:00
対象：一般40名（入洞料が必要）
申込締切：平成19年11月2日（金）

● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日：平成19年11月16日（金）
（10:00～16:00） 研修室
対象：一般10名（材料費：2,000円）
申込締切：平成19年11月2日（金）

● 落ち葉で遊ぼう

落ち葉や木の実で作る自然工作
開催日：平成19年11月23日（祝）
時間：9:30～15:00
対象：一般20名
申込締切：平成19年11月15日（木）

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

● カルスト文化祭作品展

平尾台に関する応募作品の展示
開催日：11月1日（木）～11月29日（木）
（9:00～17:00） ※入館16:30まで
場所：センター1F展示室

パトロールだより

権現山 周防台



9月21日
今年は、台風の影響も無く、ソバの花がたいへん綺麗に咲いていました（茶ヶ床）。

石のひっじ だより

ドリーネめぐり

このシリーズは、
今月で最後だよ！



よしがたに

芳ヶ谷

センターからの
方位：東
距離：1、130m

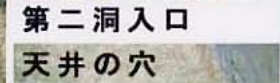
貝殻山の北に位置する芳ヶ谷は、非石灰岩地帯の水を集めた場所で、上流部には棚田跡があります。芳ヶ谷第一洞から第三洞まで鍾乳洞が3つあり、水流は第二洞から千仏鍾乳洞に抜けています。流れが途中で消える為、ブラインドバレー（尻無谷）と呼ばれる地形です。芳ヶ谷は、天井部分が溶食された鍾乳洞の跡と考えられています。また、台上では唯一、流れにタカハヤ（魚類）が生息しています。棚田跡は湿地になっており、湿原性の野草やヤブカンゾウの群落が見られます。貝殻山側は岩壁になっており、樹木が多く、好石灰岩植物のイワシデなども見られます。



棚田跡の湿地



第一洞洞口



第二洞入口
天井の穴



桶ヶ辻→

貝殻山

芳ヶ谷

平尾台の羊歯 (シダ)

「日本の野生植物 シダ」参照

アオネカズラ (青根葛)



ウラボシ科エゾデンダ属。冬緑性。樹幹や岩に着生し、夏に落葉する。名前は根茎が青みを帯びた緑による。平尾台では石灰岩上に僅かに見られる。

イノモトソウ



イノモトソウ科イノモトソウ属。常緑性。平尾台に限らず、石垣や林下に最も普通に見られます。爽やかな姿が好きなので取上げました。

☆ イベント報告 ☆

「観光鍾乳洞巡り」11月11日(日)

千仏鍾乳洞→目白洞→牡鹿洞の三つの観光鍾乳洞を一日で歩いてめぐり、それぞれの鍾乳洞の特徴や違いを観察しました。五班に分かれて、ボランティアの方々の案内で行動しました。洞窟間の移動時には、カルスト地形や野草等を観察しました。リンドウやウメバチソウなどの野草がまだまだ咲いていました。千仏鍾乳洞は、途中から水流に入るので子供たちに好評で、目白洞はつらら石などの二次生成物が見事でした。牡鹿洞は入口が竪穴で、中に降りると、冬眠中のコウモリがぶら下がっており、普段目にする事が無いコウモリを熱心に観察していました。

参加者：一般30人、ボランティア7人。



千仏鍾乳洞

牡鹿洞

ネナシカズラ(実)

10月25日撮影

ヒルガオ科ネナシカズラ属。つる性寄生植物。花期：8-10月。緑葉がなく、はじめ地上に生えますが、寄主に巻きつくと根はなくなります。日当たりの良い山野の草や低木に巻きつきます。平尾台では少ないですが、ときおり見かけます。



平尾台の生きもの ノビタキ

ヒタキ科 旅鳥 全長13cm 草原性。本州中部以北では夏鳥。北九州では春や秋の渡りの季節のみ観察されています。平尾台でも、毎年少数のノビタキが立ち寄ります。過去、平尾台でも繁殖した例があるそうです。掲載写真はボランティアの方が運良く撮影したものです。尾を上下に振る習性があります。同じヒタキ科では、ジョウビタキも渡ってきます。こちらは冬鳥で、秋から春に掛けて、見かけます。ヒッヒッヒと鳴いています。

10月21日撮影



☆ イベント情報 ☆

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。

開催日：平成19年12月14日(金)

(10:00～16:00) 研修室

対象：一般10名(材料費：2,000円)

申込締切：平成19年12月5日(水)

●枯野観賞ハイキング

平尾台の枯野を歩き、草紅葉や枯れ尾花を観賞

開催日：平成19年12月16日(日)

時間：9:30～15:00

対象：一般30名

申込締切：平成19年12月5日(水)

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。小学生以下は保護者同伴。

●バトロール写真展

スタッフが撮影した色々な写真の展示

開催日：12月1日(土)～12月28日(金)

(9:00～17:00) ※入館16:30まで

場所：センター1F展示室

「平尾台の自然保護活動報告会」

10月7日(日)、10月25日(木)

「カルスト台地平尾台の自然とその保護活動」(1988年に会を結成する前後から今日までの活動経過)について、「平尾台の自然を考える会」事務局の前田伸一氏による報告会を開催しました。平尾台の貴重な自然を守る取り組みに、参加者も熱心に聞き入っていました。

参加者：一般7人、ボランティア15人、スタッフ2人



ずっと、ずっと、平尾台を大切にしていね!

